

### 第3回香美町村岡区小学校等再編検討委員会 議事録【概要】

日時：令和7年10月22日（水）19：00～20：00

場所：村岡地域局3階 301会議室

（出席）

委員：14名、教育長

事務局：6名

（欠席）

なし

#### 1. 開会

進行：事務局

#### 2. あいさつ

前田教育長

#### 3. 協議事項

##### （1）小学校統合後の校舎の位置について

事務局：資料により小学校の統合後の校舎の位置について、あらためて説明

教育長：前回の会議で各団体の意見を集約したうえでこの会議に臨んでいただくようお願いしていると思いますので、まずは各団体のご意見を伺っていきたいと思います。

村岡区長会：中学校も近くにあることから、今の村岡小学校でいいのではないかと思います。

村岡小PTA：幼稚園の保護者も含めた24家庭のアンケートで、村岡小学校が100%でした。

村岡幼保護者：小学校PTAが言われたとおりです。

村岡小：12名の職員のうち11名が村岡小学校でという意見でした。

兎塚区長会：村岡小学校でやむを得ないという意見がほとんどでしたが、統合に向けていろんな意見をいただきましたので、今後の会議で言わせてもらいます。

兎塚小PTA：幼稚園の保護者も含めた31家庭のアンケートで、村岡小学校が81%、兎塚小学校が19%でしたので、村岡小学校ということになりました。

うづか幼保護者：小学校PTAと同じです。

兎塚小：幼小の職員に意見を聞き、村岡小学校ということになりました。

射添区長会：保護者の意見を尊重するという事で、PTAのアンケート結果をいただいたところ、村岡小学校がわずかに少なかったのですが、就学前施設、中学校、高等学校、病院などが近くにあることから村岡小学校にした方がいいのではという意見になりました。ただ、みかた校との交流は統合後も引き継いでいくよう十分に検討をしていただきたい。

射添小 PTA：結論は射添小学校に開校を求めるです。幼稚園も含めたアンケート結果で、村岡小学校 44.4%、射添小学校 55.6%で射添小学校に開校を求めるという意見が多くなっています。その理由としまして、通学距離のバランス、廃校の利活用の可能性を考えれば射添が望ましいと考える。境～村岡間、大笹～村岡間を比較すれば、射添の子たちは距離も時間も最大2倍の負担になりますので、境と大笹の間にある射添の校舎とするのがいいと考える。中学生なら一時間程度の通学にも耐えうるだろうが、下射添の特に低学年の子にとっては大きな負担になるので射添校舎を希望する。などですが、やはり一番の懸念は下射添の子たちの負担が大きいということで、平等という観点で考えれば校舎は射添小学校を使うのが望ましいというのが結論です。

射添幼保護者：小学校PTAと同じです。

射添小：全職員、村岡小学校でという意見です。

宝樹保護者：保護者アンケートで兎塚3%、射添10%、村岡87%でしたので、村岡という意見になりました。

宝樹保育園：保護者の意見のとおり村岡であれば周辺施設との連携も取りやすいので、村岡小学校の校舎を使うのが望ましいと思います。

教育長：それぞれ意見集約の結果を伺いましたが、これらについて、あらためて質疑、ご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

射添小 PTA：皆さんの意見を伺いますと村岡小学校の校舎を使うという意見が圧倒的ですので、いたし方ないのかなと思いますが、一番負担増になるのが下射添の子どもたちということをご理解いただきたい中で、保護者の意見を2点お伝えします。一つは距離の面で村岡小より香住小の方が近い地区があるので、校区の見直しも考えてほしい。再編は旧町の区域にこだわらず考えていただけるなら村岡小を使うのもかまわないという意見、もう一つは、現在の路線バスですと一時間近くかかるので、直通のバスを走らせてもらうことを考えていただけるのなら村

岡小を使うこともやぶさかではないという意見がありますので、下射添の子に負担が集中しないように今後検討していただきたいと思います。

事務局：学校再編計画には、通学区域について弾力的に考えていくことを掲げていますので、今の意見は通学方法の検討の際に考えていきたいと思います。事務局としても調べたところ、クスミや山田は村岡小より香住小の方が近いですし、長瀬でちょうど同じぐらいの距離になります。校区については行政区単位で設定していますので、クスミは行政区でいうと長瀬になりますから、行政区の中で意見がまとまるのか懸念するところがあります。そうした中で考えられるのが地理的理由による区域外就学という方法もあるのかなと思います。いずれにしても今後、通学方法の検討の際に話をさせていただければと思います。

射添小 PTA：よろしくお願いします。

教育長：これまでの意見では 14 人の委員のうち 12 人が村岡、2 人が射添という意見だと思います。最終的には多数決をとりたいと思いますが、他にご意見がありますでしょうか。

事務局：校舎の状況について説明不足だったかもしれないのですが、建築年次だけをみて村岡小の建物が一番古いと思われる方が多いようですが、村岡小の大規模改修は躯体コンクリートの中性化対策まで行っており建物の寿命を 20～30 年延ばす対策をしています。兎塚や射添の大規模改修はそこまで行っていませんので、建物の寿命でみれば村岡小が一番長くなっていることをご理解願います。

射添小 PTA：平成 25 年の大規模改修から 20～30 年というのであれば、残りはそんなに長くないのではないのでしょうか。

事務局：大規模改修から 20～30 年ではなく、一般的に鉄筋コンクリートの耐用年数とされている 60 年を 20～30 年延ばしているということで、現在、昭和 44 年の建築から 56 年経っていますので通常ならあと 4 年、実際にはもっと使えるのでしょうけど、これを 20～30 年延ばしていますので、少なくとも令和 30 年頃までは十分に使えるということです。

教育長：それでは、確認の意味で多数決をとらせていただきたいと思いますので、統合後の校舎は現在の村岡小学校とすることに賛成の方は挙手願います。

【賛成：12】

教育長：ありがとうございました。では多数決の結果、小学校統合後の校舎は、現在の村岡小学校を使用するというので進めさせていただきます。

#### 4. 次回協議事項について

教育長：それでは、次第の4番、次回協議事項について、事務局から説明をさせていただきます。

⇒ 【資料配布】

事務局：次回協議をお願いしたいのは、統合後の校名の選定方法についてです。

学校名の決定につきましては、まず、どういう手順で選定していくかを協議していただきたいと考えており、資料に一般的な選定方法を3パターン示させていただいています。まず①の「再編検討委員会による検討」ですが、この委員会で協議して学校名の候補一つを選定してもらう方法です。次に②の「投票」は、この委員会で学校名の候補を複数選定し、児童・保護者、地域住民などによる投票を行い、その結果をもとにこの委員会で候補一つを選定するという流れになります。③の「公募」は、児童・保護者、地域住民などから学校名の候補を応募してもらい、その中から委員会で候補一つを選定しますが、選定にあたってはこの委員会とは別に選定委員会を設置するかどうかで流れが若干違います。別途選定委員会を設置しない場合は、応募のさまざまな条件をこの委員会で検討し、応募作品から一つに絞る作業もこの委員会で行います、選定委員会を設置する場合には、この委員会では選定委員会のメンバーを決めていただき、応募の条件や候補を一つに絞る作業は選定委員会が行い、その結果をこの委員会です承していただく流れになります。そして、いずれの場合も候補として選定した学校名は、総合教育会議で承認していただき、最終的には議会で学校設置条例の改正が可決されて正式決定となります。

次に三つのパターンの考えられるメリット・デメリットについてですが、①の「再編検討委員会による検討」の場合は、候補が絞り込みやすい、選定が早いといったメリットが考えられますが、住民の意見が反映されていないといった印象が残ることが懸念されます。②の「投票」の場合は、候補が絞り込みやすいというえ、住民も関わったという印象が残ると考えられますが、この中から選んでくださいという手法は、押し付けられたとを感じる方もあるかもしれません。③の「公募」の場合は、幅広く意見が聞ける方法ですが、選定までの時間がかかりますし、別途選定委員会を設置する方法であれば、さらに時間がかかることになり、校名が決まらなないと検討できない校歌や校章の検討開始が遅くなることが考えられるところです。

そういった中で、今回意見集約をお願いしたいのは、①、②、③のどの方法で選定するのがよいかということで、③「公募」がよいとする場合については、別途選定委員会を設置すべきかどうかについても意見集約してください。また、ここに掲げる以外の方法があれば、それを

提案していただければ結構です。

教育長：事務局から３パターンの選定方法を示さしてもらいましたが、これ以外の方法の提案がある方はありますでしょうか。

兎塚区長会：村岡中学校のときはどの方法でしたか。

事務局：公募だったと思いますが。

兎塚区長会：検討委員会を作って決めたはずで、私はその委員で、校名の提案をしたのですが、校名は村岡中学校でいいじゃないかといきなり提案を却下された発言があったことを覚えています。

射添小 PTA：それは校名検討委員会ということですね。

教育長：すいません。今は事務局の提案以外に方法があればとお尋ねしていますので、あればそれも含めて持ち帰って意見集約してもらおうと思っていますが、なければこの３パターンで検討していただくことでよろしいですか。

#### 【異議なし】

教育長：それでは大きく分ければ３パターンですが、公募の範囲など付随する条件についても併せて考えていただければと思います。

射添小 PTA：選定委員会を設置する場合の委員構成は何か案があるのでしょうか。ここにおられる方は保護者、地域、学校それぞれの代表ですので、他に必要なのでしょうか。この委員会が選定委員会ではだめなのでしょうか。

事務局：校名を選定するだけならこの委員会でいいと思いますが、校歌とかになると音楽に詳しい方が必要かなと思っています。

教育長：校名選定委員会、イコールこの再編検討委員会でいいということもそれぞれ協議してきていただければと思います。

宝樹保育園：校名、校歌、校章と毎回意見集約することになるのですか。まとめて意見集約してしまっただめなのですか。

事務局：少なくとも校歌・校章はいっしょでもいいと思いますが、校名は別でと考えています。

射添小 PTA：度々 P T A 会員さんに集まってもらうのは申し訳ないので、それぞれの選定方法を決めるぐらいは一度にしてもいいのではと思いますが。

事務局：校名が何になるかで、その後の校歌や校章の決め方も変わってくるとのではと思われるところで、例えば校名が今ある学校名になった場合、校歌や校章も引き継げばいいのではとい

った意見も出てくるのではと思います。

宝樹保育園：選定方法に加えて、公募で集まったもののどれがいいかの意見を聞いたり、何回も集まったり、アンケートしたりするのは大変なので、選定方法はまとめて聞いてもいいのではと思います。

村岡小：校名が決まらなないと校歌とか校章のイメージができないと思われますし、今回の意見集約だけでも①、②、③のどの方法がいいですか、②を選んだ人には投票の範囲を尋ねたり、③を選んだ人には選定委員会はどうしますか、と掘り下げて聞いていかなければならないので、まとめてするのは質問の仕方や集約も大変になると思います。

教育長：一つ一つ進めていこうとしているのは、最初に校名・校歌・校章の選定方法をすべて決めてしまうと校名が何になるかで校歌・校章に影響が生まれ、もう一度選定方法を考え直してもらわなければならないことを避けたいと考えていることもあります。ただ、まとめて意見集約をされるのは構いませんが、後戻りのないようにしていきたいと思います。

射添小 PTA：要するに検討は一つ一つ進めていくが、選定方法はまとめて聞いて各自プールしておいてもいいということですね。

教育長：はい。

宝樹保育園：村岡中学校の時は、どういう経緯で決まったのですか。今回、なんとなく村岡小学校でいいじゃないかとなる気がするのですが。

射添小 PTA：そうはならないと思います。

兎塚区長会：村岡中学校の時は、選定委員会の多数決で決まりました。

射添小 PTA：確認ですが、香住区の時は統合方式、校舎、校名、校歌、校章をまとめて決めているのは香住小ありきだったということですか。

事務局：はい。

射添小 PTA：一つ一つ進めようとしているのは、仮に校名が村岡小学校となれば、校歌、校章も今の村岡小のものでいいとなる可能性があるからですか。

教育長：そういう訳ではありません。

事務局：今日決めていただいた校舎の位置と学校名は条例で謳うもので、校歌、校章は必ずしも制定する必要がないもので、それだけ重要度が違いますので分けて進めさせていただきたい。

教育長：ということで、何度も意見集約をお願いしなければならないことになるかもしれませんが、一つ一つ丁寧に進めていきたいと思いますのでご理解願います。他にご意見がなければ次

回の委員会では校名の選定方法について協議をしますので、それぞれ意見集約のうえ会議に臨んでいただきますようお願いします。それでは本日の協議事項は以上としまして、次回開催日について事務局お願いします。

事務局：先ほどお願いしましたとおり、各区長会やＰＴＡで意見集約をするため一定の期間が必要ですし、１２月は議会月で事務局側の都合で日程が取りにくいので、年明けの１月に予定させていただき、日時は改めて案内をさせていただきます。

教育長：それでは次回は１月ということで改めて案内をさせていただきます。

## ５．閉会